

ご用命・お問い合わせ先  
アペックス産業株式会社

電話 03-3455-6474  
FAX 03-3455-6558

〈詳しいご案内は当社のホームページをご覧ください〉

URL <http://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

# APEX CLUB

'2/5 第49号

## ギャラリー

昭和24年12月

アペックス燻蒸(株)設立



昭和29年12月

アペックス産業(株)に社名変更



昭和26年、サイパン島でアフリカマイマイ燻蒸。



昭和39年、東京オリンピックに協力、組織委員会から感謝状をいただきました。



昭和40年、船舶の燻蒸出動  
週刊誌「女性自身」に掲載。

おかげさまで当社は、  
昨年12月、創立70年を迎えました。



昭和40年、不審火による火災に遭遇。



平成7年、新卒採用を開始。



アジア・オセアニアPCO連合会設立  
総会(左・創業者、中・佐々木博士)

昭和40年、社屋を新築。東京大学と東京女子医科大学OBの先生を招聘し、研究室を新設。



ネットイトコジラミ

### おじやま虫

Q & A

簡易宿舎やホテルの客室、また一般住宅で洋み被害を引き起こすトコジラミですが、夜間に潜み場所から這い出して、就寝中の人が吸血することで知られています。現在はホームセンター等においてもトコジラミの駆除剤が販売されるようになり、専門業者に頼めば早急に防除の対応をしてくれることで、きちんととした対策が取られるようになりました。しかし近年、薬剤に非常に強いことで知られるネットイトコジラミが東京においても目撃される事例が出てきました。ネットイトコジラミは、通常のトコジラミと若干形態が異なるものの、肉眼ではほとんど見分けることができません。専門業者による顕微鏡を用いた同定作業が必要となります。また、その生態としては、殺虫剤に非常に強い傾向が見られており、場合によっては専門業者の使用する薬剤においても、防除が困難となることが知られています。都心ではまだ発見事例は少ないものの、今後も旅行者等によって持ち込まれることが懸念され、薬剤による対応だけでなく、物理的な除去等も考慮にいれた防除が求められています。



平成23年、東日本大震災で、ハエが大量発生し、駆除に出動。



平成26年、デング熱発生。東京都との協定により蚊の駆除を実施。



平成28年には、新潟県で鳥インフルエンザの車両消毒に出動。



(公社)東京都ペストコントロール協会の感染症予防衛生隊として訓練に参加。新型コロナウイルス消毒作業にも出動。



令和元年、環境省の依頼により、(公社)東京都ペストコントロール協会で東京港ヒアリ駆除を実施。特定外来生物防除にも取り組む。



明治時代、開国とともに外国からペストが入り、三府十八県に広がり二千二百十五人が亡くなりました。これを受けた政府は明治三十年に伝染病予防法を制定して制圧にあたりました。太平洋戦争では、軍人二百万人が亡くなりましたが、その半分はマラリアと栄養失調でした。熱帯地ではハマグラカという蚊がマラリアを伝搬することを知らなかつたのです。戦後、シラミが媒介する発疹チフスが流行し、三万二千人が感染し三千人あまりが亡くなりました。進駐軍は現在の価格で五百億円を投じ、全国の市町村に公衆衛生技師(八千七百名)と衛生班(三十六万人)を編成し防疫にあたりました。平成十二年、その伝染病予防法が廃止になり、専門の防疫職員や薬剤・機材の備蓄義務が無くなってしましました。今や日本は清潔になり感染症の脅威は去つた」という判断だったのでしょうか。私達ペストコントロール協会は、感染症予防衛生隊を全国の都道府県協会に組織し、感染症発生時の受け皿となるべく訓練を行つきました。その後も鳥インフルエンザ、東日本大震災時のハエ駆除、代々木公園で発生したデング熱国内感染での蚊の駆除、各地で発生した台風や土砂災害時の防疫作業、豚コレラ、そして今回の新型コロナウイルスの消毒作業です。日本国政府がペストコントロール協会に三日月ホテルをはじめ収容先の消毒作業を委託し、NHKや三大紙が協会名を報載しました。

